

## 令和 8 年度 第 1 回おおさか環境科教材編集会議

### 1 日 時

令和 8 年 7 月 9 日（木）15 時 00 分～

### 2 場 所

大阪市環境局 第 1 会議室

（大阪市阿倍野区阿倍野筋 1 丁目 5-1 ルシアシビル 12 階）

### 3 議 事

議題 1 編集会議のメンバー等について（資料 1・2）

議題 2 令和 8 年度編集方針及び作成スケジュールについて（資料 3・4）

議題 3 第 14 版アンケートのご意見について（資料 5・6）

### 資料一覧

資料 1 令和 8 年度おおさか環境科教材編集会議メンバー名簿

資料 2 令和 8 年度おおさか環境科教材編集会議体制表

資料 3 令和 8 年度おおさか環境科編集方針

資料 4 令和 8 年度おおさか環境科作成スケジュール

資料 5 令和 7 年度第 14 版アンケートのご意見

資料 6 令和 7 年度「おおさか環境科＜第 14 版＞」のアンケート結果

## 令和 8 年度 おおさか環境科教材編集会議メンバー名簿

## ○アドバイザー

| 氏名     | 職業名                 |
|--------|---------------------|
| 久保 雅英  | 元大阪市小学校教育研究会社会部部長   |
| 西山 健一郎 | 元公益財団法人地球環境センター専務理事 |
| 花田 眞理子 | 元大阪産業大学大学院教授        |

※50 音順

## ○本市職員

| 氏名    | 所属             |
|-------|----------------|
| 左海 克彦 | 聖和小学校 校長       |
| 森 政人  | 塚本小学校 校長       |
| 小川 加奈 | 井高野小学校 校長      |
| 藤原 純司 | 矢田西中学校 校長      |
| 堀川 崇  | 住之江中学校 校長      |
| 秋田 耕佑 | 環境科学研究センター 研究員 |

## 令和 8 年度 おおさか環境科教材編集会議 体制表

## 【アドバイザー】

久保 雅英 元大阪市小学校教育研究会社会部部長  
 西山健一郎 元公益財団法人地球環境センター専務理事  
 花田真理子 元大阪産業大学大学院教授 (※50 音順)

## 【本市職員】

左海 克彦 聖和小学校長  
 森 政人 塚本小学校長  
 小川 加奈 井高野小学校長  
 藤原 純司 矢田西中学校長  
 堀川 崇 住之江中学校長  
 秋田 耕佑 環境科学研究センター研究員

## 部会《小学校》

## 《中学年》

## 【社会科】

喜連西(小) 玉野教諭  
 波 除(小) 山本教諭

## 【理科】

東田辺(小) 津山教頭  
 橘 (小) 富崎教諭  
 豊崎本庄(小) 藤崎教諭

## 【生活・総合】

吉 野(小) 後教諭

## 【総合教育センター（教育振興）】

濱本指導主事（社会）  
 田中係員（理科）

## 【事務局】

環境局  
 企画課、環境施策課、環境管理課  
 環境規制課、家庭ごみ減量課  
 教育委員会事務局  
 初等・中学校教育担当

## 《高学年》

## 【社会科】

喜 連(小) 岡田教諭  
 苅田南(小) 立野岡教諭

## 【理科】

塚 本(小) 森校長  
 長 居(小) 武西教諭  
 東田辺(小) 光田教諭

## 【生活・総合】

榎 並(小) 佐野教諭

## 【総合教育センター（教育振興）】

濱本指導主事（社会）  
 田中係員（理科）

## 【事務局】

環境局  
 企画課、環境施策課、環境管理課  
 環境規制課、家庭ごみ減量課  
 教育委員会事務局  
 初等・中学校教育担当

## 部会《中学校》

## 【社会科】

東 (中) 坂根教諭  
 新 巽(中) 杉田教諭  
 阪 南(中) 松本教諭

## 【理科】

堀 江(中) 門口教諭  
 天王寺(中) 高橋教諭

## 【総合教育センター（教育振興）】

吉村指導主事（社会）  
 安東指導主事（理科）

## 【事務局】

環境局  
 企画課、環境施策課、環境管理課  
 環境規制課、家庭ごみ減量課  
 教育委員会事務局  
 初等・中学校教育担当

## 令和 8 年度 おおさか環境科作成スケジュール

### ● 7 月

#### **第 1 回 編集会議開催（7 月上旬）**

##### 【内 容】

- ① 編集方針
- ② 体制表、スケジュールの確認
- ③ アンケート結果集約

#### **第 1 回 編集部会（小・中学校）（7 月下旬）**

##### 【内 容】

- ① 各部員のご意見確認
- ② 事務局にて意見内容集約整理

### ● 8 月

#### **第 2 回 編集部会（小・中学校）（8 月中）**

##### 【内 容】

- ① 第 1 回編集部会のご意見反映状況の確認
- ② その他意見の集約
- ③ 事務局にて修正原稿作成

### ● 9 月

#### **第 2 回 編集会議（9 月下旬）**

##### 【内 容】

- ① 第 1・2 回 編集部会の意見及び修正案に係る意見集約後の原稿確認
- ② アンケート実施案確認

### ● 10 月

- ・ 本市各所属、国等の関係先へ校正依頼（10 月中旬～下旬）
- ・ デザイン委託（10 月下旬）

- 12月

|                        |
|------------------------|
| <b>第3回 編集会議（12月上旬）</b> |
|------------------------|

|       |
|-------|
| 【内 容】 |
|-------|

|            |
|------------|
| 最終加筆修正箇所確認 |
|------------|

- ・ 本市各所属、国等の関係先へ最終校正依頼（12月下旬～1月上旬）
- ・ 各校へアンケート依頼（12月頃）、事務局集約（1月下旬）

- 1月

- ・ デザイン校了（1月下旬）

- 3月

- ・ 各学校へ納品（3月中旬）

令和7年度 第14版アンケートのご意見

資料 5

| 番号 | 項目                           | ご意見                                                                                                                                                                                                   | 事務局回答                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①  | 3・4年生<br>5・6年生<br>中学生<br>副読本 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や単元との紐づけが弱いので、わかりやすく表示されると使用しやすい。</li> <li>・教科や領域がさまざまで、各教科の授業内容にうまくリンクせず活用しにくい。</li> </ul>                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本各単元と教科書との関係性が一目でわかるよう、第15版より、副読本の目次及び各単元の見出しに「関連する年次・教科」を掲載しました。</li> <li>・さらに教科書とのリンクがわかりやすくなるよう、検討していきます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |
| ②  | 3・4年生<br>5・6年生<br>副読本        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う内容としては難しい。</li> <li>・担任は単元によって参考資料として活用できたが、授業では使用する機会がなかった。</li> <li>・他教材や別の副読本を使用したため、おおさか環境科は使用しなかった。</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすさ、使いやすさの向上を図り、授業で活用しやすい教材となるよう検討します。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| ③  | 3・4年生<br>5・6年生<br>副読本        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に行けない場合に活用できる、動画やアニメーションなどの映像等がほしい。</li> <li>・活用したい箇所がQRコードでデータとして活用できるようにしてほしい。</li> <li>・生き物の写真の種類を増やしてほしい。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪市ホームページに「おおさか環境科 視聴覚教材」として、生き物の音声や動画等の視聴覚教材を掲載しています。</li> <li>・また、副読本の各単元の見出しに、関連する視聴覚教材へのQRコードを掲載しています。</li> <li>・生き物等の写真について、第15版より、より見やすくレイアウトを変更するとともに、写真数を増やしました。</li> </ul>                                                                                                                                                          |
| ④  | 中学校<br>副読本                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本について認知していなかった。</li> <li>・他の教材を使用した。</li> </ul>                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの周知に加え、新たに教育委員会事務局から全教職員へ配信される、ICTを活用した教育情報を掲載する「ICTニュース」や、全市立小学校へ配付される環境情報誌「エコチル」への掲載など実施しました。今後も教職員のみなさまへ情報が届くよう周知を図ります。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                    |
| ⑤  | 共通                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時数が限られており、授業の中で活用する時間を確保するのが難しい</li> <li>・紙媒体(冊子)では、学習内容と関連していることに気づかないまま単元が終わってしまい活用しにくいとため、デジタル資料にしたほうが使用につながりやすい。</li> <li>・ワークシートがあれば活用しやすい。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・限られた授業時間内でも補助教材として活用しやすいよう、第15版より教科書単元との関りがわかりやすくなるよう掲載内容を見直しました。</li> <li>・デジタル資料については、教職員専用の資料共有サイトである「waku×2.com-bee」にてPDF版、大阪市ホームページにてデジタルブック版の掲載を行っています。また、生徒児童及び教職員が使用するポータルサイトである「まなびのポータル」においてデジタルブックへのリンクが設定可能ですので、ご活用ください。</li> <li>・副読本は発達段階に応じた学習ができるよう構成しています。小学校3・4年生及び5・6年生の副読本については、課題を発見し調べる学習のためワークシートを掲載しています。</li> </ul> |

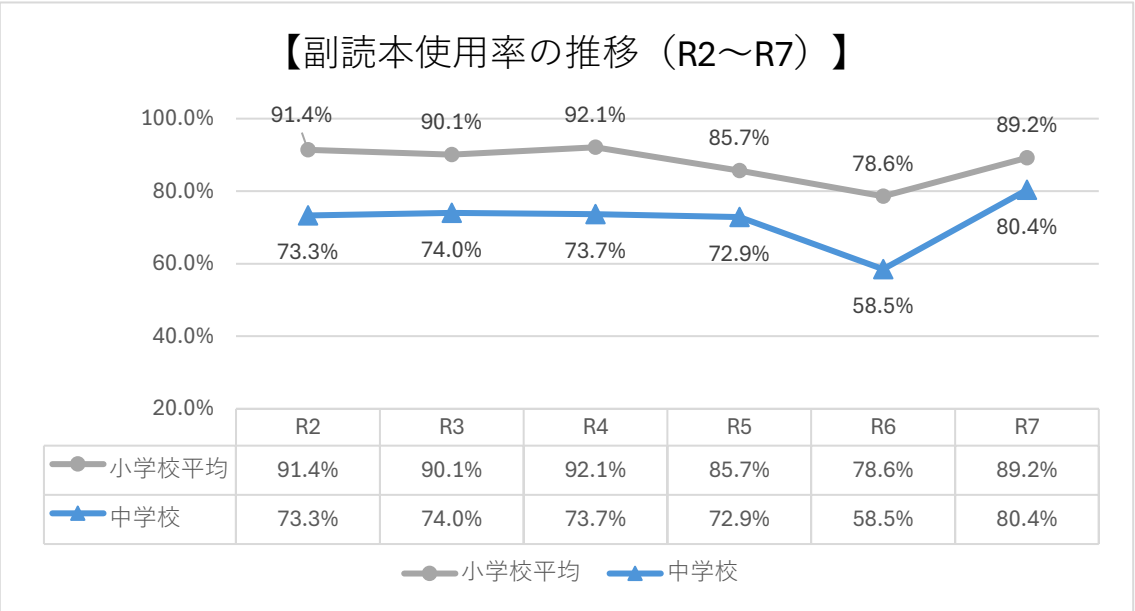
令和 7 年度「おおさか環境科＜第 14 版＞」のアンケート結果

- ◆ 調査対象（実施期間：2025 年 12 月 15 日～2026 年 1 月 30 日）
  - ・市立小学校 285 校（回答数 246 校・回答率 86.3%）
  - ・市立中学校 134 校（回答数 112 校・回答率 83.6%）

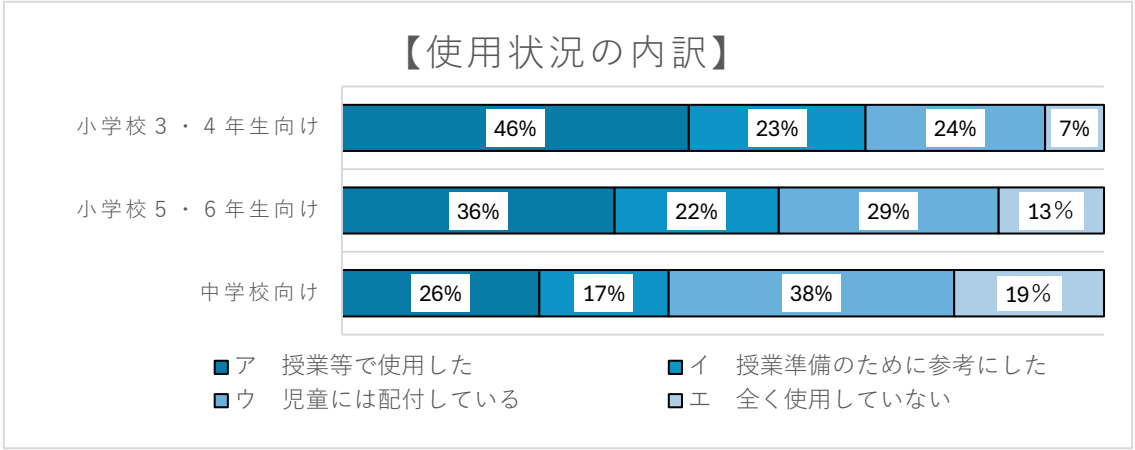
1 副読本「おおさか環境科」の使用頻度・使用状況について

- 今年度に副読本は使用しましたか。

|        | 使用した  | 使用していない | 使用率※  | 昨年度使用率              |
|--------|-------|---------|-------|---------------------|
| 3・4 年生 | 227 校 | 19 校    | 92.3% | 81.9%（199 校／243 校中） |
| 5・6 年生 | 212 校 | 34 校    | 86.2% | 75.3%（183 校／243 校中） |
| 中学生    | 90 校  | 22 校    | 80.4% | 58.5%（69 校／118 校中）  |

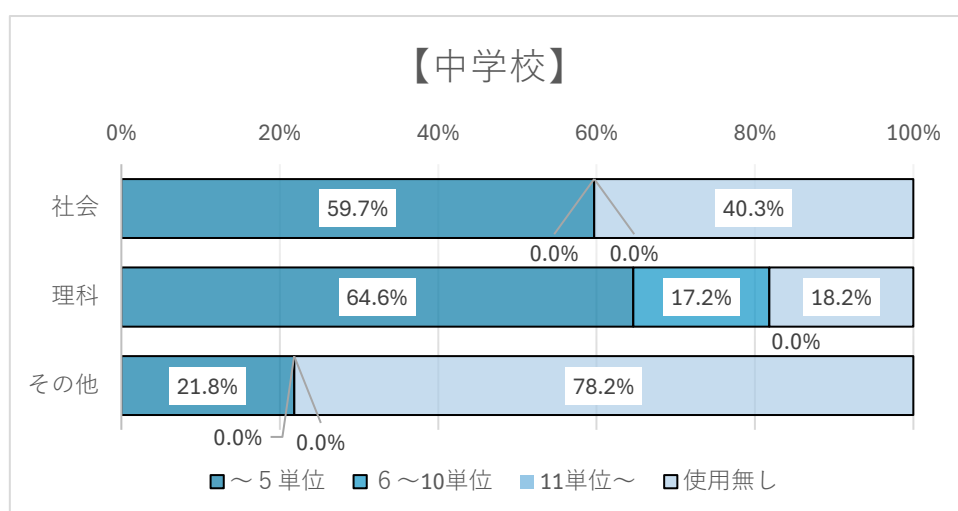
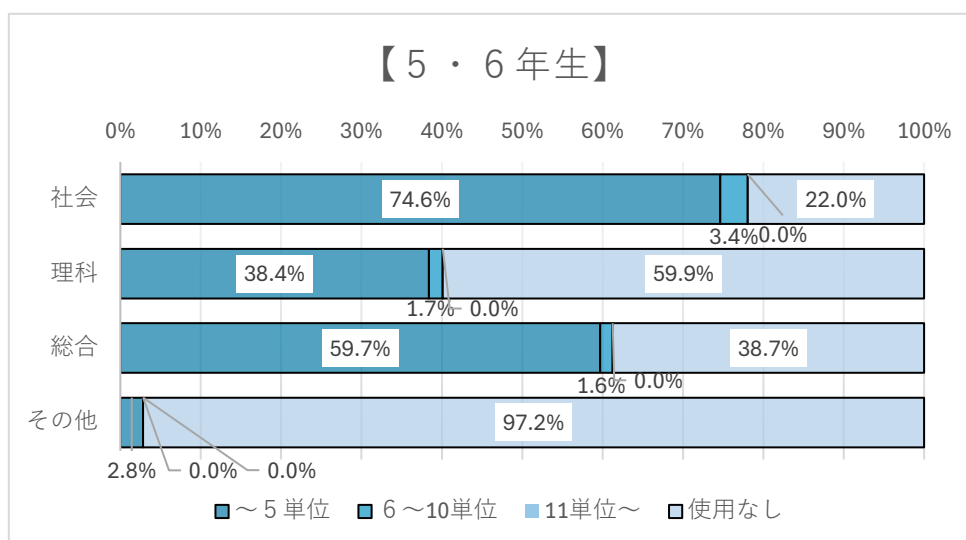
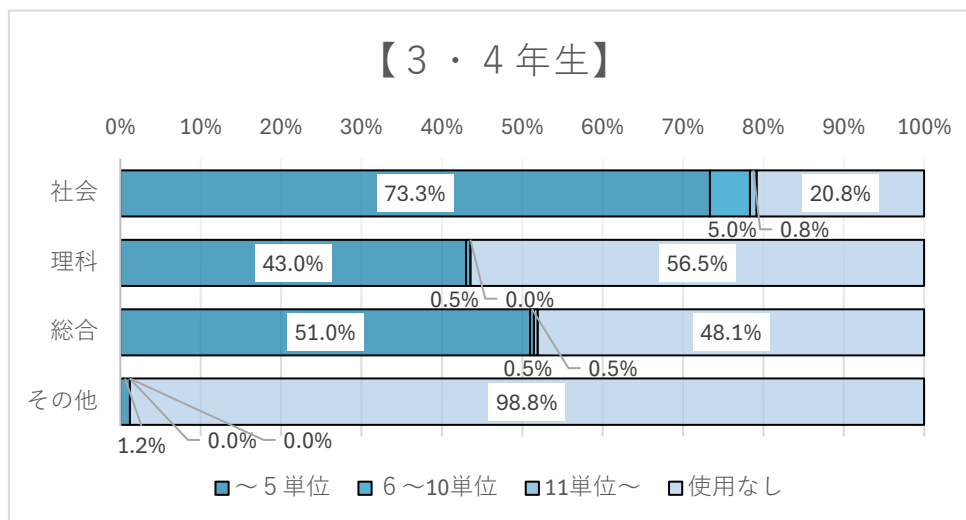


※R7 アンケートの「使用した」には、下記「ウ 児童には配付している」も含めて集計

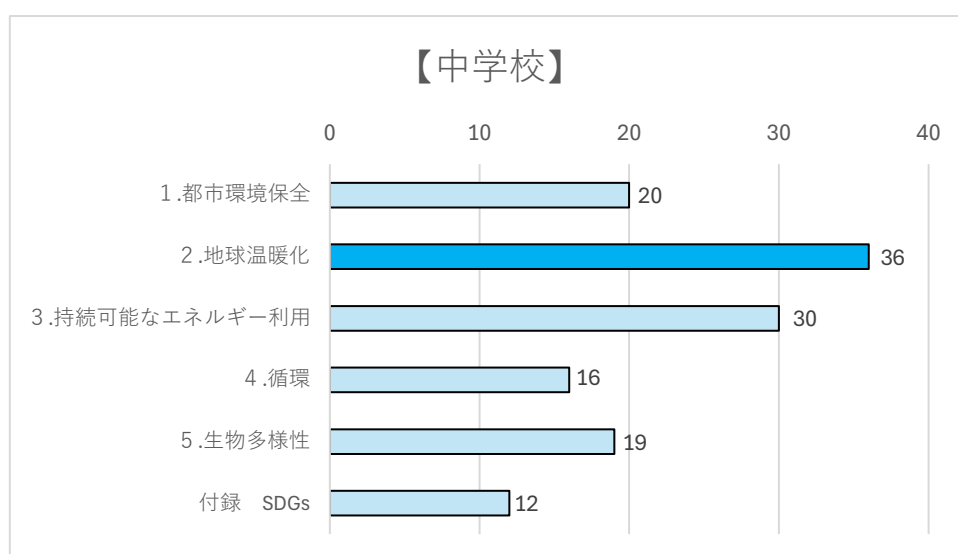
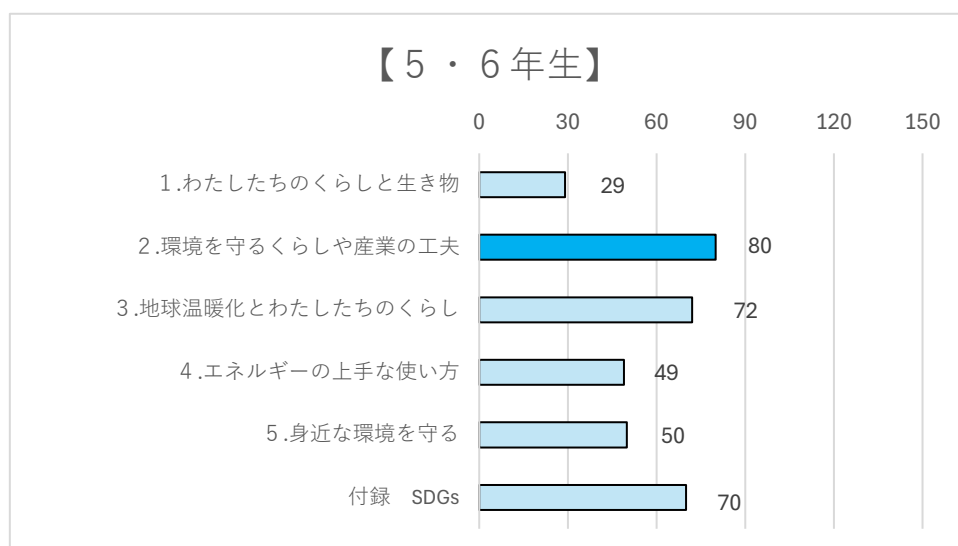
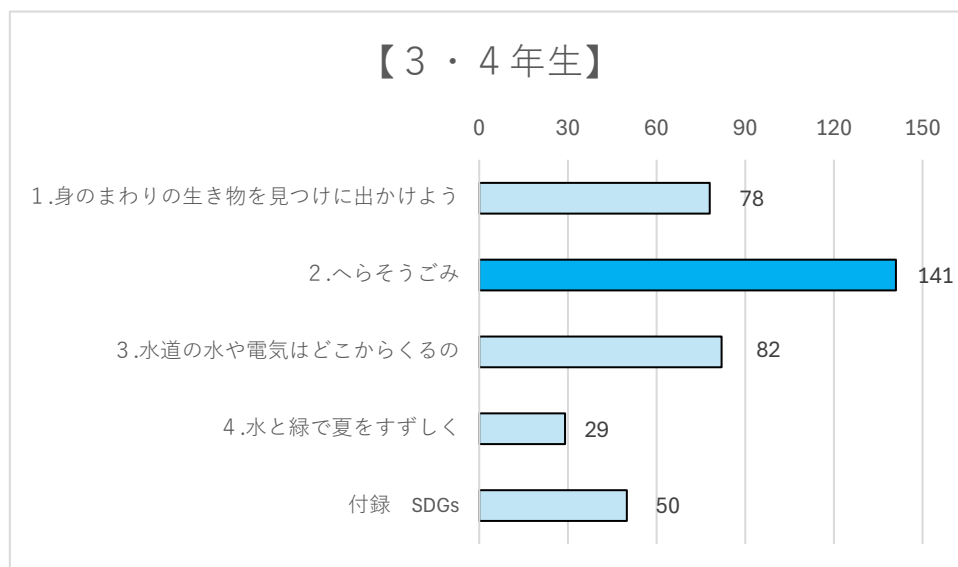


R7 アンケートから「ウ 児童には配付している」の選択肢を新設

- 科目毎に、使用単位数を選択してください。



- 科目毎に、副読本での単元を選択してください。（※複数選択可）



● 具体的にどのように使用し、どのような成果が得られたのか教えてください。

【3・4年生】

- ・理科で学校近くに見られる身近な動植物の観察で使用した。【3年生】
- ・教科書にはない資料を見せて、授業の理解を深めるために使用した。【4年生】
- ・身の回りにある具体的な事例をイラストや写真を使って分かりやすく説明してあるので、こどもたちが身近なものとのつながりを感じることができた。【4年生】

【5・6年生】

- ・SDGs やリサイクルがわかりやすく、調べ・まとめの参考にできた。【5年生】
- ・教科書の補助教材として活用（写真・資料で理解が深まった）【6年生】
- ・総合的読解力の取り組みで環境問題・SDGs の資料として使用（具体的数値で理解が深まった）【6年生】

【中学校】

- ・生徒に読み聞かせ、考えさせることにより理解させた。環境問題についての理解が以前より深まったことが成果である。【1年生】
- ・日本の環境問題を取り扱う際に使用。イラストが分かりやすく、冊子もコンパクトで使いやすい。【2年生】
- ・自分の住む地域の環境問題の例として使用した。環境問題を身近なものとして感じる事ができた。【3年生】

● 今後の内容改善のため、授業で使用しなかった理由を教えてください。

【3・4年生】

- ・授業時数の削減に伴い、教科書学習で手一杯で補助教材まで使用する余裕がない。【3年生】
- ・紙媒体は必要な時にすぐに取り出せず、学習内容との関連に気づかないまま活用せずに単元が終わってしまう。【3年生】
- ・年間授業時数の見直しとともに指導内容の精選を行ったため、副読本活用の時間が取れなかった。【4年生】

【5・6年生】

- ・今年度から始まった大阪市の総合的な読解力育成カリキュラムなどの学習を進めるため、おおさか環境科を使用することができなかった。【5年生】
- ・社会科の資料集を児童費で購入しており、そちらを中心に使用しているため。【6年生】
- ・年度内で学年の重点指導項目の変更が必要になり、計画的な使用ができなかった。【6年生】

【中学校】

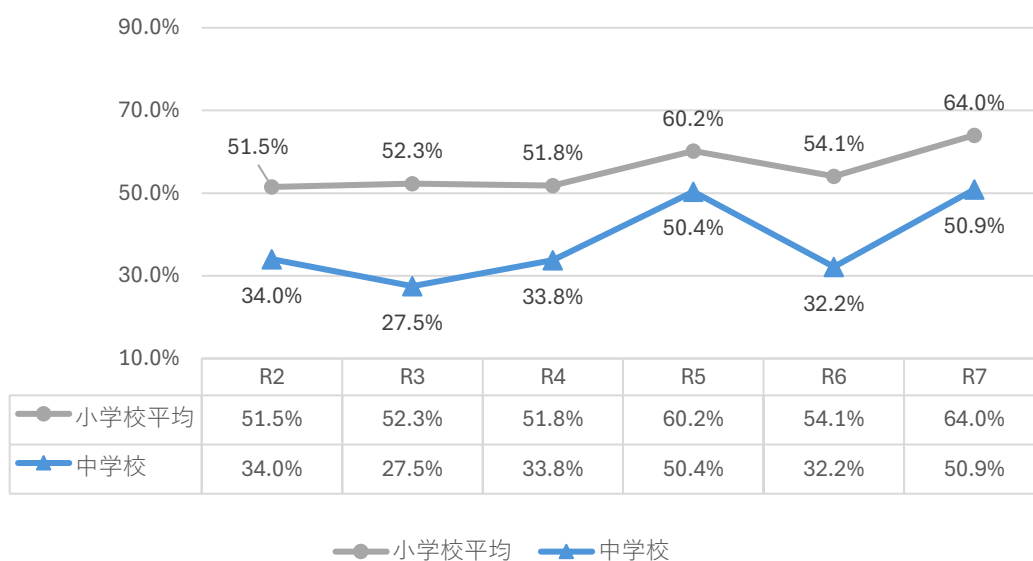
- ・授業時間をとって使用することが難しい。授業の進捗上、教科書の授業内容以外の取組を入れることが難しい。例年3年次に環境や科学技術について学ぶときに参考資料として使用している。【1年生】
- ・2025 年度大阪・関西万博があり、そちらの取り組みの中で SDGs を深く取り下げ活動を行った。重複になるので、授業では使用しなかった。【2年生】

## 2 指導の手引き・データ資料集について

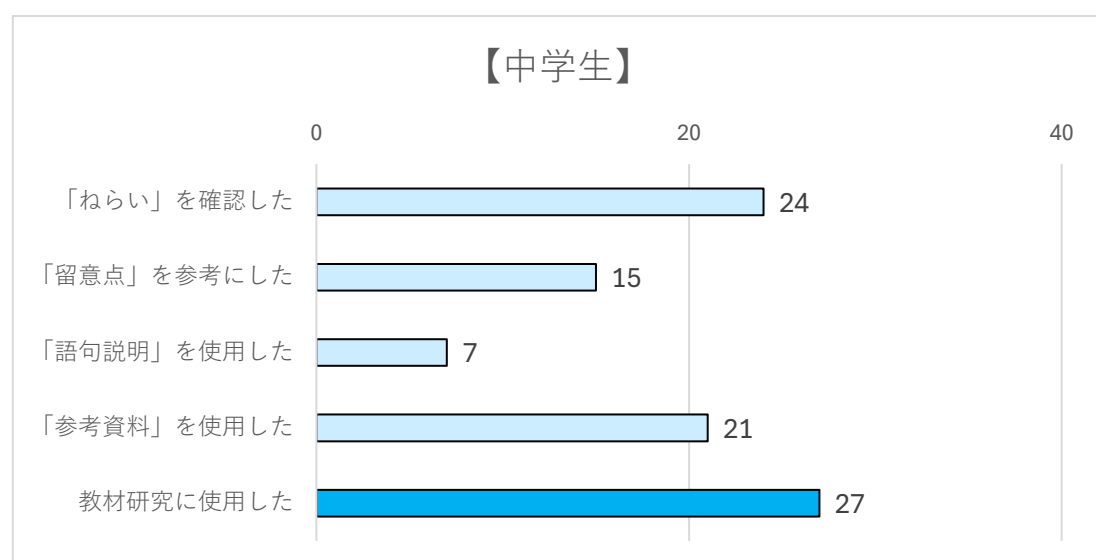
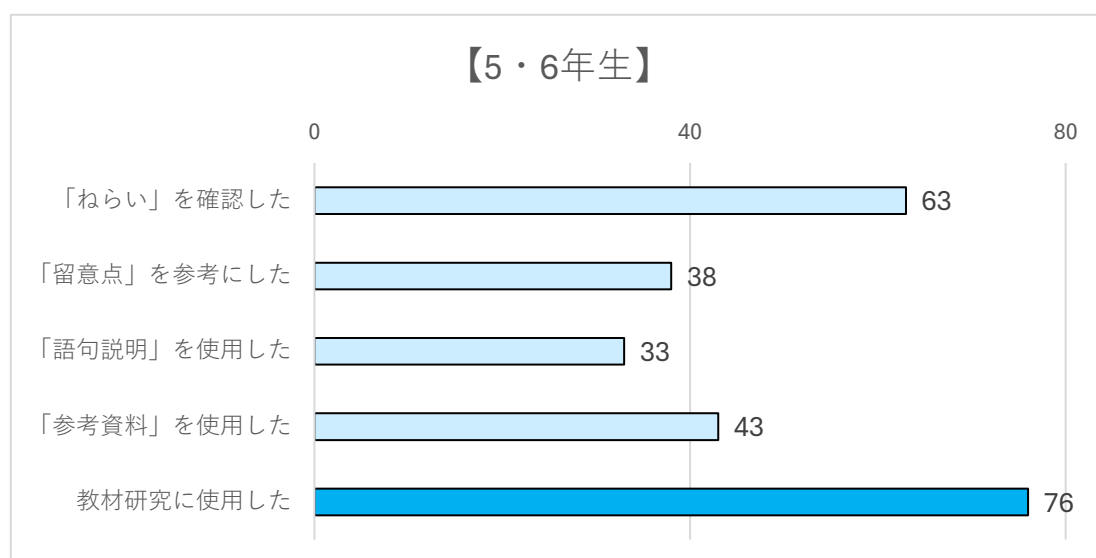
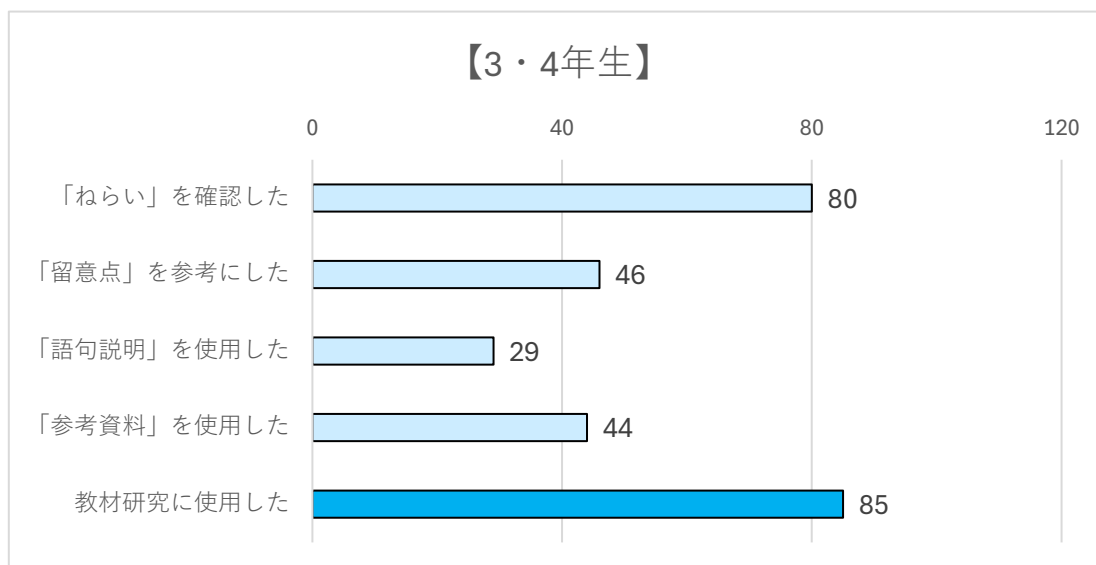
### ● 指導の手引きを使用されましたか。

|       | 使用した | 使用していない | 使用率   | 昨年度使用率             |
|-------|------|---------|-------|--------------------|
| 3・4年生 | 168校 | 78校     | 68.3% | 56.8% (138校/243校中) |
| 5・6年生 | 147校 | 99校     | 59.8% | 51.4% (125校/243校中) |
| 中学生   | 57校  | 55校     | 50.9% | 32.2% (38校/118校中)  |

【指導の手引き使用率の推移（R2～R7）】



- 指導の手引きの活用方法をお選びください。 ※複数回答可



- 「waku×2.com-bee」ポータルサイトに掲載しているおおさか環境科の資料を使用されましたか。

|       | 使用した | 使用していない | 使用率   | 昨年度使用率             |
|-------|------|---------|-------|--------------------|
| ３・４年生 | 26 校 | 220 校   | 10.6% | 15.2%（37 校／243 校中） |
| ５・６年生 | 30 校 | 216 校   | 12.2% | 14.0%（34 校／243 校中） |
| 中学生   | 12 校 | 100 校   | 10.7% | 11.0%（13 校／118 校中） |

- 内容充実のため、今後取り上げると良いと思うものがあればお選びください。 ※複数回答可

|       | 写真  | 図表  | ワークシート | 指導案・活用事例 | その他 |
|-------|-----|-----|--------|----------|-----|
| ３・４年生 | 166 | 115 | 93     | 88       | 9   |
| ５・６年生 | 162 | 130 | 98     | 89       | 12  |
| 中学校   | 37  | 24  | 23     | 28       | 3   |

**（その他意見）**

- ・ 動画やパワーポイント資料があると説明しやすい
- ・ 教科書とのリンク、教科書と関連のある資料やワークシートがほしい
- ・ 活用したい箇所が QR コードなどでデータとして活用できるようにしてほしい
- ・ 社会用と理科用に冊子をわけたほうが活用しやすい

- 副読本・指導の手引き・データ資料集等、全体についてご意見があればお聞かせください。

**【３・４年生】**

- ・ 内容は悪くないが、必須ではないとなかなか使用できない。教科書とのリンクをわかりやすくし、常に使用できるように位置付ければ使用すると思う。【３年生】
- ・ 何年も刊行されているが、副読本が必要なのか検討が必要。ICT 活用等やることも多い。アンケートや集計も含め働き方の観点から見直し余地がある。【３年生】

**【５・６年生】**

- ・ 児童の興味関心や学習理解を図ることができるような工夫があり、とてもわかりやすかった。デジタル教科書のように活用できたり、教科書との関連がより強くなるとよりよくなると思う。【５年生】

**【中学校】**

- ・ 全学年対象となっているが、中３が望ましく思う。【３年生】